

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 9 日

事業名称		高齢者日常生活支援事業費 [老人性白内障眼鏡等購入費助成事業]							
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 3	老人福祉費	事業番号	4	
事業の種別		<input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input checked="" type="checkbox"/> 廃止したもの							
担当部署・課長名		高齢介護 課 高齢福祉			係	課長名	伊野宮 崇		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。					施策番号	2 - 2			
【施策名】 高齢者保健福祉の推進					総合計画書(ページ)	51			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 下記の条件を満たすもの ①65歳以上で手術を受けた者 ②眼鏡等の購入時に市内に居住し、住民基本台帳等に記録されている者 ③医療保険加入者 ④申請した年度の市民税が非課税である者(特殊眼鏡の場合は所得の制限内の者)				→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市内65歳以上の高齢者数(令和2年4月1日現在)			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 対象者の経済的負担を軽減する。				→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 支給件数			
	③ そのために何をしましたか。 身体上の理由により、老人性白内障治療のための水晶体摘出手術において、眼内レンズを挿入することが出来ない高齢者に対し、手術後に使用する特殊眼鏡及びコンタクトレンズの購入に要した費用の一部について、4万円(特殊眼鏡)または2万5千円(コンタクトレンズ)を限度として助成する。 手順については、対象者からの申請受付後、内容を審査し、決定通知書を送付してから、助成金を支払う。				→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 支給件数			
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標	
	対象指標	①の数値	人	22,711	22,902	23,062	/		
	成果指標	②の数値	件	0	0	0			
	目 標	②の目標値	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)						
活動指標	③の数値	件	0	0	0	/			
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円						
		特定財源	円						
		(うち受益者負担)	円						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人						
		所要人数(再任用)	人						
		職員人件費(再任用以外)	円						
職員人件費(再任用)	円								
事業費+人件費	円								
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く								
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く								